

中国標準化協会（CAS）との間の協力覚書締結について

2019年11月14日
一般財団法人日本規格協会

1. 本件の概要

一般財団法人日本規格協会（JSA）理事長 揖斐敏夫と中国標準化協会（CAS）書記長 高建忠氏は、2019年11月11日、中国・北京のCASにおいて協力協定を締結し、国際標準化活動等、幅広い分野で連携を進めていきます。

2. 背景

経済社会のグローバル化、第四次産業革命によるイノベーション、IoTによるつながる社会の到来、高齢社会の進展などを背景として、サービス、社会システムを含む新しい分野のグローバルな規格開発のニーズが高まり、変化のスピードが速くなる中、各国それぞれでの対応では限界があることが顕在化しています。JSAと中国の主要な標準化機関であるCASは、有力な標準化機関同士の連携の強化が今後一層重要になるという認識で一致し、標準化に関連する情報を幅広く収集、利害関係者への情報発信を強化、ISO/IECなどの国際規格開発等での具体的な協力を推進していくため、協力協定を締結することになったものです。

なお、JSAは2018年に欧州の主要な標準化機関との連携協力体制の構築を進めており、世界最大の標準化機関である英国規格協会（BSI）、ドイツ規格協会（DIN）及びドイツ電気電子情報技術委員会（DKE）、並びにフランス規格協会（AFNOR）との協力覚書を締結しており、CASとの協力協定はそれらに続く事例です。

3. 意義

JSAは、透明性、公平性及び客観性を確保した民間規格として新たに「JSA規格」（JSA-S:ジェイサス）を開発・発行する制度を2017年6月に創設したところです。CASとの連携により、欧州地域のみならずアジア地域における規格開発活動の連携が強化され、民間規格からISO/IECなどの国際規格に至るまで幅広い分野での協力が可能となり、標準化の多様なニーズに具体的かつ柔軟に応えていくことができるものと期待しています。

なお、JSAは、我が国の標準化ナショナルセンターとして、BSI、DIN/DKE及びAFNORに続き、CASとの協力協定を締結しました。欧州のみならずアジア地域の主要標準化機関との締結により、グローバルな規格開発活動の連携が強化され、ソリューションの幅が広がり、様々なお客様の標準化ニーズに適したサービスを提供できるものと期待しています。更に、他の有力な海外の標準化機関との協力関係の構築にも積極的に取り組んでいるところです。

4. 協力協定の概要

CAS との協力協定に記された協力活動：

- ① 標準化情報の交換、標準化の普及活動
- ② 国際標準化活動、技術研究、人的協力における協力